

令和5年
(NO-6)

里 山

龍ヶ崎・里山の会
令和5. 10. 03.

年間・活動

- ・ 自然公園・里山整備、環境保護啓蒙活動（カブトムシ）、市民協働
- ・ 地球・温暖化の研究



1. 自然公園・里山整備

龍ヶ崎市内にある森林を里山として再生し、動植物が住みやすい自然環境をつくるため、里山、竹林、雑木林等の森林整備、谷津田の保全活動、里親登録制度による蛇沼公園、若柴公園、行部内公園、谷津田斜面林の環境美化活動に取り組んでおります。

自然の成長の力は強く、毎月1回での保全作業では、遅れ気味の状態です。



2. カブトムシ育成イベント

整備した自然公園、里山林を活用した環境保護啓蒙活動として、カブトムシの育成、林の保全指導、観察会を行っております。秋に落ち葉を集めて積み上げた場所にカブトムシが産卵し、翌年の5月に市民の参加による、幼虫を成虫に育て森林に放してもらう活動を行っております。落ち葉を集めて積み上げる作業は、なかなかの難作業です。

3. 市民協働活動

市民ボランティアと協力し、里山の森林整備活動を行います。例年、龍ヶ崎二高の生徒さんと整備作業を行いますが、コロナのためしばらくは延期とします。

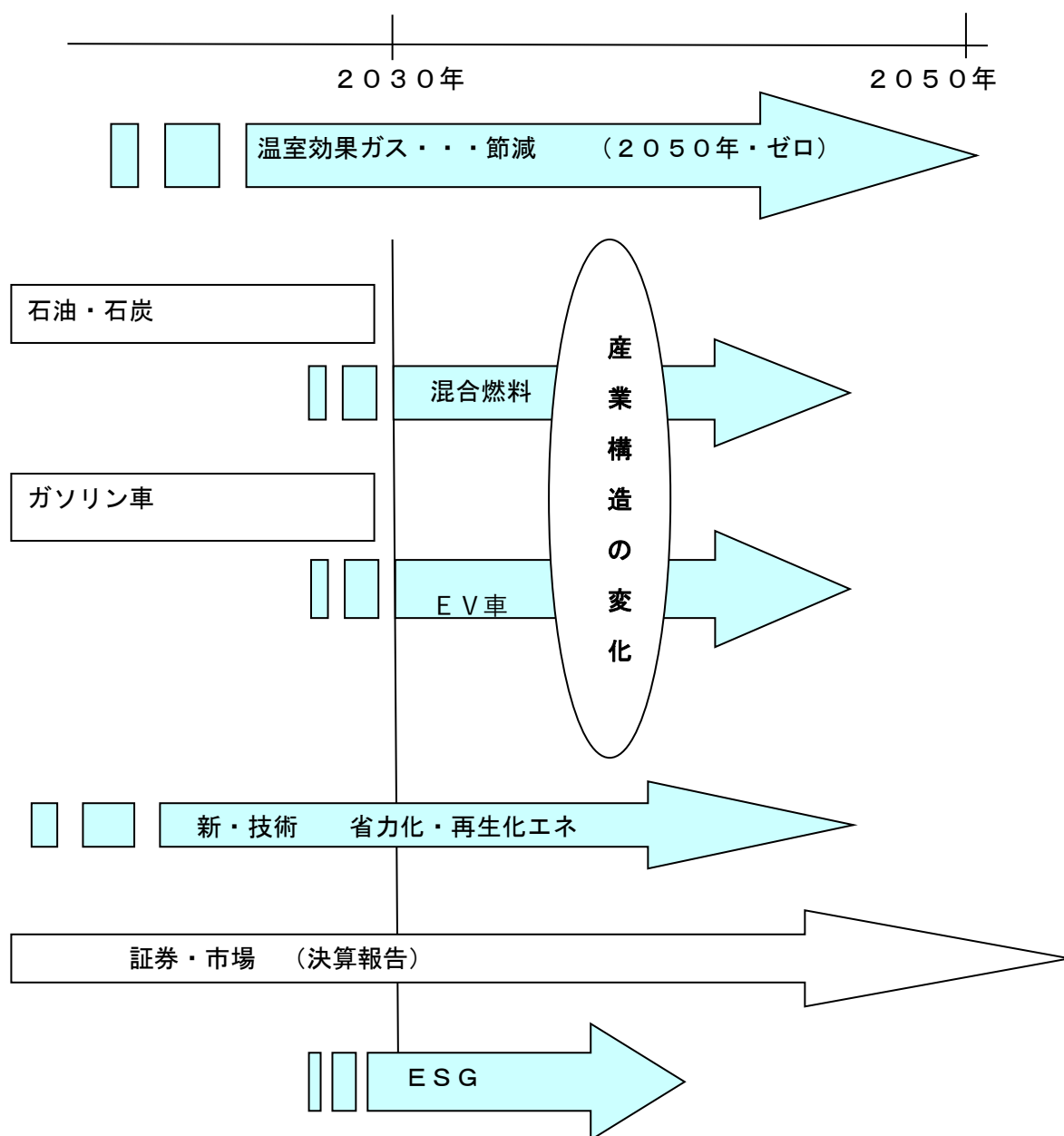
4. 地球・温暖化の研究

COP（気候変動枠組・生物多様性枠組）、世界および日本政府の環境政策、カーボンプライシング、クレジット、排出量等の動向について調査・研究を行っております。また、新技術である水素、アンモニア、メタン燃料、省エネ、EV化等についても動向・調査中です。

石油・石炭・資源エネ から新世代へ ？

日本政府は、2050年までに温室効果ガスをゼロ（悪い量）、2030年に「46%」の節減を目標としております。中間点である「2030年」前後には、現状のままであれば産業界は大きな変化が生じると考えられます。

- ・ 温室効果ガスの中間目標（46%減達成）達成
- ・ 自動車のEV化の本格的な参入



■追記

- ・ 新しい燃料 水素、アンモニア、バイオ
- ・ EV自動車 EV（電気）、FCV（燃料電池）、高価で100万円ほど高くなる
- ・ 本田技研の関連企業「エンジンメーカー（大阪技研）」店じまいをした
- ・ 鉄鋼メーカー（JFEスチール）は、溶鉱炉から電気炉に変更